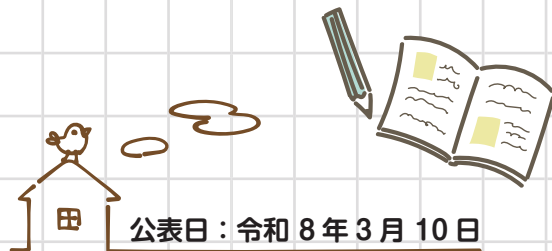


令和7年度

COMPASS 発達支援センター三豊 事業所における自己評価総括表(公表)



公表日：令和8年3月10日

○事業所名	COMPASS発達支援センター三豊		
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日		令和7年9月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日		令和7年9月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 1	(回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年9月10日		令和7年9月27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 1	(回答数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月14日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(支援の充実) COMPASSでは全国に事業所を展開しており、横のつながりが強く、定期的に全事業所で会議を実施し、情報共有を行うことで、適切なアドバイスをお伝えしております。	COMPASSでは保育所等訪問支援の意識を高めるため、専門性のある職員の知識と経験を活かし、事例やアプローチなど社内で定期的な勉強会を実施しております。	引き続き事業所間のつながりを大切にし、勉強会や情報の共有・交換などをおこない、職員の更なるスキルアップを目指してまいります。
2	訪問先施設との連携を大切にし、児童一人ひとりに寄り添った支援をおこなっております。	定期的な振り返りや研修を通じて支援の質の向上に努めております。	職員の専門性をより高めるために研修や事例検討を継続し、訪問先や保護者様との連携をさらに丁寧におこない、支援の効果を高めてまいります。
3	理学療法士、児童指導員、保育士などの専門職が連携し、児童の課題に多角的にアプローチできる体制を整えております。	チームでの支援により、柔軟で実践的な対応をおこなえる体制を整えております。	訪問前に職種間で支援の目的や児童の課題、訪問先のニーズを共有し、それぞれの専門性を生かした役割分担を意識し、よりよい支援に努めてまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問の目的や支援内容等の認知度の低さにより、支援につながりにくい状況があります。	保育所等訪問支援の制度自体の地域での認知度が十分でないため利用につながる機会が少なくなっております。	制度の認知度向上に向け、関係機関への働きかけや制度説明の機会を増やし、理解促進に努めてまいります。
2			
3			

